

高市早苗内閣総理大臣祝辞挨拶

ゼンゲ駐日カメルーン大使、各国大使の皆様、ご列席の皆様、本日、アフリカデーを迎え、心からお祝い申し上げます。

日本とアフリカは、長年友情を育み、協力を重ねてきました。冷戦終結後の1993年、日本は世界に先駆けて、アフリカのもつ素晴らしい可能性に着目し、アフリカ自身の「オーナーシップ」と、国際社会による「パートナーシップ」を基本理念に、アフリカ開発会議、通称TICADを立ち上げました。

30年以上が経った今、国際社会は、当時には想像できなかったようなことも含め、多くの課題に直面しています。こうした中で、日本とアフリカが手を携え、互いの経験と知恵を結集し、アフリカのみならず、グローバルな課題の解決策を、共に創り出していくことが、重要です。

今月、訪問したベトナムで、「自由で開かれたインド太平洋」、FOIPを時代と共に進化させると発表しました。このFOIPは、ちょうど10年前、当時の安倍晋三総理がアフリカのケニアの地で、提唱したものです。私たちは、この深い縁を忘れません。進化したFOIPは、各国が、いかなる困難にも屈せず自ら運命を切り拓く「自律性」と「強靱性」を、共に高めていくことを目指します。日本とアフリカで、「共に、強く豊かに」なるために手を携え、協力を一層深めていきましょう。日本は、これからも、アフリカの力を信じ、その自己実現を後押しします。私たちが共に歩むのは、次世代と、その先の未来につながる、長い道のりです。日本は、皆様と共に未来を切り拓く道を選びます。

アフリカと日本の一層の発展を心より祈念します。ありがとうございました。（了）